

接続料の算定等に関する研究会(第89回) ご説明資料

2024年10月30日
ソフトバンク株式会社

ひかり電話ネクストの特定卸電気通信役務継続可否に関する論点整理

ひかり電話ネクストを特定卸電気通信役務の範囲から除外する条件として、

- ・ 接続による代替性
- ・ **メタル回線の縮退を進める場合の代替サービスの具体的な提供計画を明らかにすることが明記**

ひかり電話ネクストは、第七次報告書において整理したひかり電話の性質とは、次のとおり異なる点がある。

・ ひかり電話については、N T T 東日本・西日本の卸役務のシェアが固定電話中17%を占めていたが、ひかり電話ネクストについては、0.07%（小売を含めても0.2%）に過ぎない。

・ ただし、ひかり電話については、接続により類似サービスの提供が可能。ひかり電話ネクストは、現状、優先パケット転送機能の制約上、同様の対応ができない。

上記の状況を踏まえると、**ひかり電話ネクストについては、ひかり電話・フレッツ光・加入電話等既存サービスのいずれとも提供形態等が異なる「光回線を利用した電話単体サービス」であるという性質や、現状接続による代替性がないこと等を踏まえ、双方向番号ポータビリティ実現までの間において、競争環境への影響や代替性等を継続的に検討し、特定卸電気通信役務の範囲から除外するか否かを判断すべきである。**

ただし、例えば、双方向番号ポータビリティ実現までの間に、**メタル回線の縮退を進める場合の代替サービスの具体的な提供計画が必ずしも明らかとならない場合、直ちに特定卸電気通信役務の範囲から除外するという対応は採ることは困難である。**

(※)接続料の算定等に関する研究会（第82回）「固定通信分野の特定卸電気通信役務に関する規律の運用状況に関する論点整理」（R6.3月） 及び「接続料の算定等に関する研究会」第八次報告書（R6.9月）

メタル回線廃止後の0ABJ音声単体サービスの代替候補について

現状も、光ファイバを用いた音声単体サービスは実質的に「ひかり電話ネクスト卸」のみであり
代替サービスが無い状況が継続

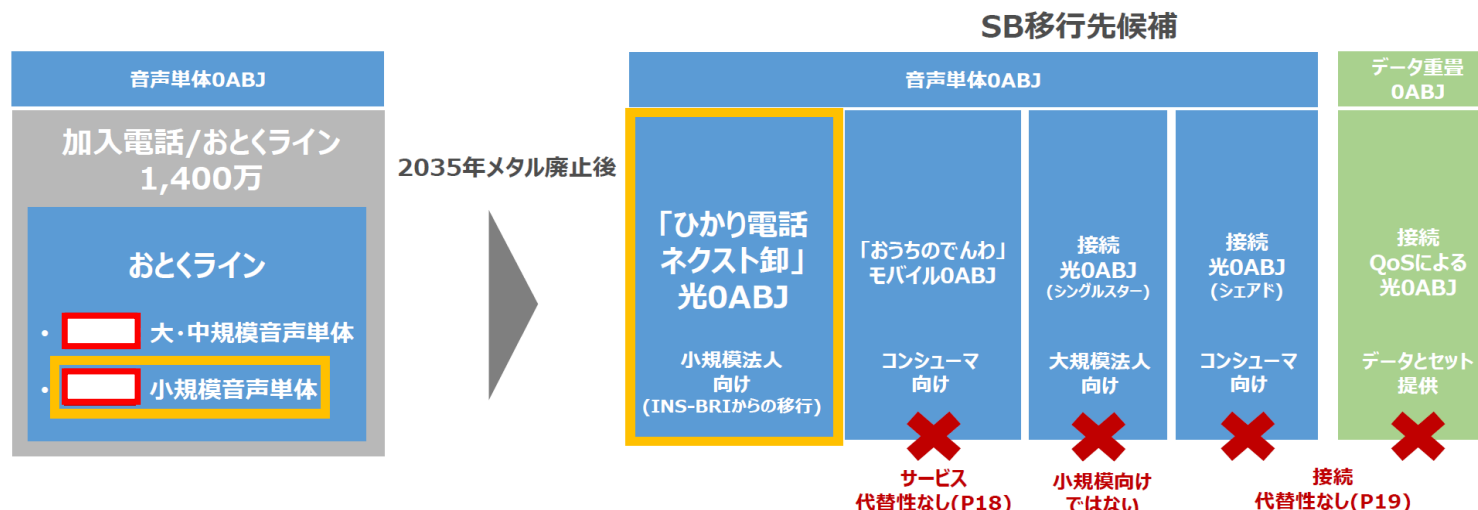
2-2 メタル回線廃止後の0ABJ音声単体サービス

赤枠構成員限り

17

※接続料の算定等に関する研究会
(第80回) 当社資料

メタル回線による0ABJ音声単体市場は現在においても1,400万契約※1存在し、
電話のみ（データサービスは不要）とする利用者ニーズは依然高い
一方現状においては、メタル回線廃止後ひかり電話ネクスト卸に代替する
小規模法人向けの0ABJ音声単体サービス（接続や他サービス）が存在しない



※1出典：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表令和5年度第1四半期(6月末)」
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban04_02000230.html

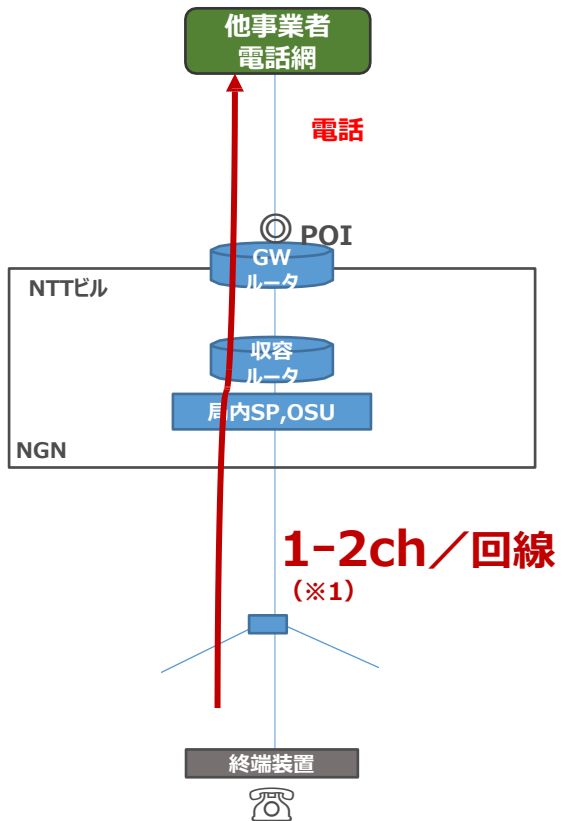
© 2024 SoftBank Corp.

構成員限り

ひかり電話ネクストにおける接続代替性（シングルスター・シェアド）

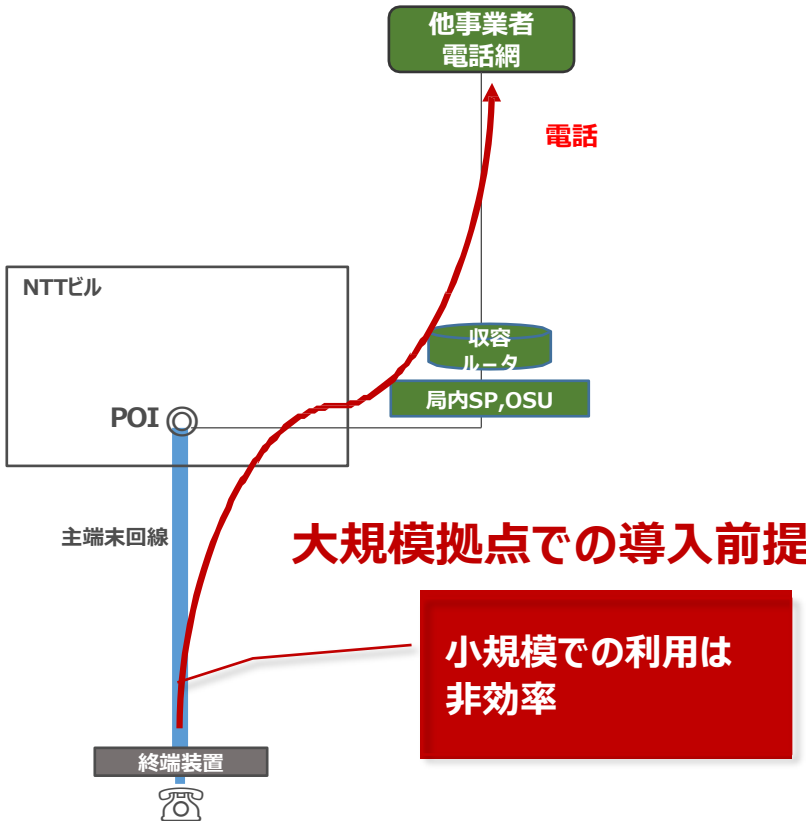
シングルスター方式は大規模回線の収容を前提としており、小規模法人での利用は非効率
またシェアドアクセス方式は収容率の課題があり、NTT東西殿との価格競争が出来ないことから
OABJ音声単独サービスの接続による代替はない状況

ひかり電話ネクスト



ひかり電話ネクストユーザ

シングルスター方式

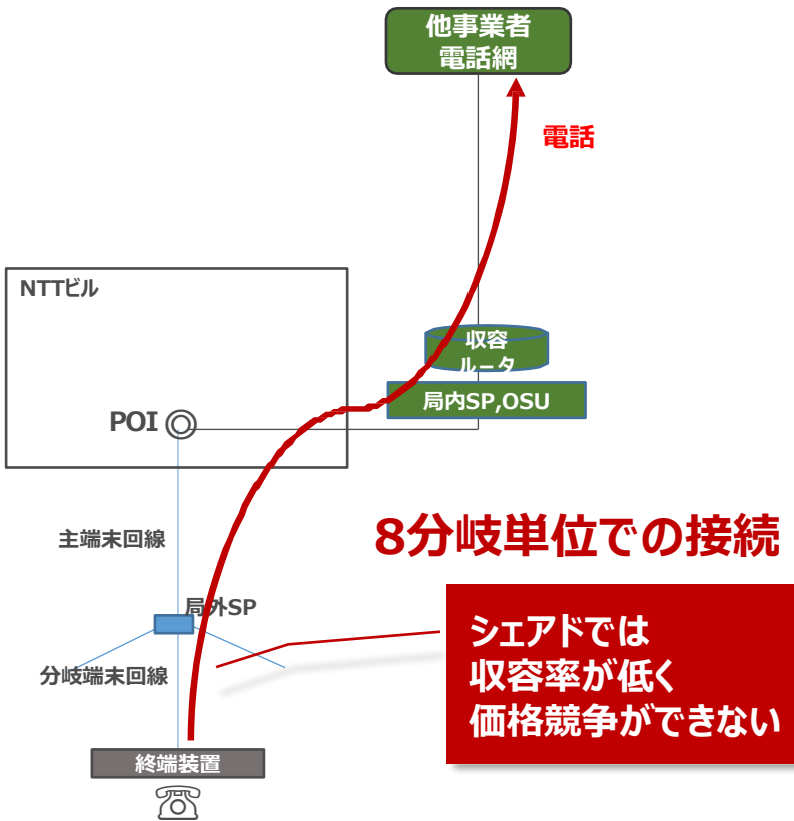


他事業者電話ユーザ

大規模拠点での導入前提

小規模での利用は非効率

シェアドアクセス方式



他事業者電話ユーザ

8分岐単位での接続

シェアドでは収容率が低く価格競争ができない

(※1) 出典 ひかり電話ネクスト「基本機能/付加機能」利用の場合
https://web116.jp/shop/annai/hdn/hdn_01.html

ひかり電話ネクストとモバイル0ABJ電話サービスの代替性

モバイル0ABJはモバイル電話網と固定電話網とのハイブリットとなることから、
品質・機能を求める法人向け代替サービスとはならない

		ひかり電話ネクスト (光回線0ABJ電話)	おうちの電話 (モバイル0ABJ電話)
月額料金 (税抜き)		2500円	980円
提供品質		加入電話と同等	モバイル網部分が電波状況に依存 (電波不感知エリア・連続通話品質)
機能	回線・チャネル	複数回線・複数チャネル	単回線・1チャネル
	緊急通報	加入電話と同等	・0A0番号からの発信 ・災害時優先接続を含む「回線保留又は呼び返しもしくはこれに準ずる機能」等、一部機能において制限あり

高品質・複数回線
主に法人向け

低価格・単回線
主にコンシューマ向け

メタル代替サービスの具体的な提供計画

具体的な移行計画や代替サービスについてNTT東西殿から明確な回答なし

出典	当社意見	NTT東西殿意見	審議会等の考え
<ul style="list-style-type: none"> 令和5年11月 電気通信事業法施行規則等の一部改正等に関する意見募集等の結果及び情報通信行政・郵政行政審議会からの答申 	<ul style="list-style-type: none"> メタル回線の廃止は接続事業者の事業計画にも多大な影響があることから、NTT東西殿において速やかに情報提供がされるべき 	<ul style="list-style-type: none"> メタルサービスの維持限界に向けた移行計画等は現時点では未定 	<ul style="list-style-type: none"> 「4年前ルール」が直収電話に利用されるメタル回線にも適用されているのは、平成29年答申を踏まえ、事業者の事業判断を促す観点等から、接続による直収電話を提供する事業者やその利用者の予見性を高めるためである 「代替サービス」の考え方については、その趣旨を踏まえ、NTT東日本・西日本において接続事業者と十分協議した上で適切に運用・対応する必要がある
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年2月 情報通信審議会 電気通信事業政策部会 通信政策特別委員会（第13回） 令和6年7月 同委員会（第14回） 	<ul style="list-style-type: none"> メタル回線の縮退及び光回線等への移行については、その切替規模が大きいことが想定されるため、回線移行に関するユーザ周知、必要なシステムや設備等の構築のために卸・接続事業者に対して十分前もっての開示が必要 移行計画の開示時期について明確にしたい 	—	<ul style="list-style-type: none"> メタル回線設備については、2035年頃の縮退に向けて、メタル固定電話の既存利用者の代替サービスへの円滑な移行が必要 NTTは、メタル回線設備について、具体的な移行計画を早急に策定し、総務省でその進捗を検証すること等が必要 (※) 出典元2ボツ目
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年3月 東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更の認可（令和6年度の接続料の改定等） 	<ul style="list-style-type: none"> （上記同内容） 	<ul style="list-style-type: none"> メタルの維持限界への対応に向けた具体的計画、代替サービスについては、現時点で未定 見通しが立った段階で可能な限り早期に開示 	<ul style="list-style-type: none"> 2035年頃を目途にメタル回線の縮退を進める場合、利用者や事業者等に不測の支障が生じないように留意して行う必要がある
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年6月 IP網への移行後の音声接続料の在り方 —情報通信審議会からの答申— 	<ul style="list-style-type: none"> LRICモデルにおける光回線への置換えについては「ユニバーサルサービス制度への影響等も含めて検討を継続する」とは言うまでもありませんが、 状況変化を踏まえれば、少なくとも次々期算定期間に反映できるよう具体的に検討を開始すべき 	—	<ul style="list-style-type: none"> NTT東日本・西日本においては、メタル回線について、マイグレーションを実施する具体的な切替計画について、早期に検討を進めることが望ましい

- ✓ 光回線を利用した電話単体サービスはひかり電話ネクストのみであり、接続代替性がない状況が継続
- ✓ NTT東西殿からは加入電話(メタル回線)の縮退を進める場合の代替サービスに関する具体的な提供計画が明らかにされていない
- ✓ ひかり電話ネクストは、電話単体サービスを提供する卸先事業者のビジネスにとって重要なサービスであり、こうした状況の中特定卸電気通信役務から除外された場合、適正な競争環境に及ぼす影響が大きい
- ✓ 従って、ひかり電話ネクストは今後も引き続き特定卸電気通信役務の対象とすべき